

FISHIN'GRAPH

フィッシンググラフ～見て感じて楽しむ沖釣りライフ

②8まさに今から開幕 浜名湖沖のタチウオ

▶浜名湖の奥、東名高速の下に位置する寸座(すんざ)マリーナ
▶新幹線、在来線、国道をくぐり抜けて湖口へ



◀弁天島、浜名湖大橋の架かる今切口の向こうは遠州灘
▼初めて訪れた海での1尾目は何よりもうれしい

▶鏡のような湖面だが水はほぼ海水



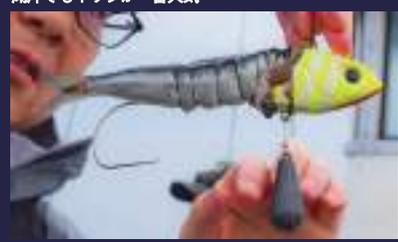
◀フォースマスター600の探見丸スクリーンには140メートル前後にタチウオの群れの反応が映し出されていた



▶水深150メートル前後を狙う浜名湖沖ではサーベルマスター船テンヤ60号を用意



▲スナップで15～20号オモリを足して計75～80号に。潮が覆ければ外してもいい
▼イワシ、サンマの切り身などを装填。浜名湖沖でもイワシが一番人気



浜名湖沖のタチウオ釣りは初夏の5～6月に開幕、翌年冬の2月一杯で終了するのが通例ながら今年は3月も釣れた。さすがに4月は群れが見つかるか……という状況ながら、釣華丸・北川典弘船長に無理を承知で出船していただいた。
メイン釣り場は天竜川河口の沖にあたる天竜堀と、静岡・愛知県境の沖にあたる鮫堀の2カ所。ともに海溝が深海から大陸棚にせり上がる場所で、水深は主に150メートルかそれ以上。
4月上旬、浜名湖奥より出船し、弁天流しのマゴチ釣りを横目に今切口を抜け、遠州灘を40分ほど西に走って到着したのは鮫堀。
当地のテンヤは80号が基準、富所さんはサーベルマスター船テンヤ60号にスナップでオモリを足して調整、フォースマスター600とサーベルマスターエクスチューンテンヤ82MH180のタックルでスタンバイする。

◎とみどころ じゅん シマノインストラクター、ティップエギング、メタルステータム、タチウオをはじめ、船のライトゲーム、「楽しむ釣り」の最先端に行く。